

夏山(折立～黒部五郎岳)

L : 花村、松野、花里、川瀬、川村、大山

8月11日(水) 晴れ



入山。

天気はいいが、明日直撃が予報される台風を思わせるような、微妙な雲が湧き上がる…



薬師峠のテント場へ。

テント設営後、往復約3時間かけて薬師岳をピストンする。

夜から強風が吹き始める。

8月12日(木) 雨

停滞沈殿。雨がひどく、No. 25のテントに浸水。雨の止み間を見計らってトイレに行ったりするが、大体戻る頃には降られる。外にも出られず、一日テントの中で6人、話題も尽きた頃、川村さんの提案によるゲームで一時盛り上がる。結局夜まで雨は降りやまず、明日は赤木沢へは行かずに尾根伝いに黒部五郎まで行くことになる。

(恐怖のトイレ) …蛆がいた…

8月13日(金) 曇り



散々雨にたたかれると、降っていないだけでもありがたい。

稜線を歩いて黒部五郎岳へ向かう。
曇りの日の慰めの雷鳥に会う。

そうはいうものの、黒部五郎岳の山頂からは槍ヶ岳も望めた。

黒部五郎小舎のテント場でくつろぎ、つかの間の平和な時間だった。

夕方から雨が降り始める。No. 25の浸水は激しく、赤木沢の遡行も絶望的、翌日、一日予定を切り上げて撤収下山の決定がなされる。

8月14日(土) 雨

朝ごはんと呼ばれてNo. 25のテントに行ってビックリ。みんな靴を履いている。昨夜の浸水の激しさを物語っている…



雨の中を撤収、登山道は沢と化し、五郎の肩からの下りは猛烈な風に吹かれる。昨日取った天気図にあった停滞前線に思いをいたしながら、稜線の風に吹かれ続け、太郎平の小屋に着いた時には寒くて仕方なかった。

折立への登山道にも水が流れ、雨にたたられた夏山終了。